平成31年度入学生用カリキュラムマップ

【健康・スポーツ科学研究科 健康・スポーツ科学専攻】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1．知識・理解						2．技能・表現				3．思考・判断			4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2
19MHSA1312	課題研究Ⅰ	1	修士論文作成に向けての準備段階と位置づけて、実験計画の立案、予備実験の実施、データ解析、ディスカッション、そしてプレゼンテーション能力を高め、課題研究Ⅱへと繋げていく。	研究の最新情報、特に欧米の論文をよく読んで研究の知識を深めること。また、実験・調査の手法や統計解析能力を高めて修士論文の作成準備を整えること。	◎	◎	○	○	○		◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	
19MHSA2322	課題研究Ⅱ	2	大学院での特論・演習・実習で修得した知識・技術を基に自らの研究テーマの背景と課題を明確にし、適切な研究方法と解析能力を養い、その成果をまとめてプレゼンテーションができること。	課題研究Ⅱを通して自身の研究テーマを学会で発表し、より質の高い修士論文に繋げていけるようにする。	◎	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	
19MHSC1111	研究倫理	1	近年、科学技術が一層の進化を遂げ、人々の豊かな生活に貢献している。これは、多くの分野における科学者の地道な研究の積み重ねによってなされた成果によるものであり、これからも科学研究のさらなる発展が必要である。しかし、一部の研究者によって健全な研究を覆すような事例が発生していることも事実である。 この科目の目的は、科学の健全な発展のために身につけなければならない科学者として必要な考えや態度を養うことである。	科学の健全な発展のために科学者として必要な考え方、すなわち１）責任ある研究活動とは何か、２）高い倫理性に基づく研究の進め方、３）適正な研究成果の発表について理解する。		◎					○	○	○		○	◎	○	◎	◎
19MHSC1222	健康科学総論	1	これまでに予防医学として取り組まれてきた内外の一次から三次予防の動向を理解し、少子高齢化を前提とした今後の健康に関連する新たな取り組むべき方向性について考える。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	修士課程大学院生として健康科学に関する基本的な理解を深める。			◎	○									○	○	
19MHSC1232	スポーツ科学総論	1	本特論では、スポーツ哲学の視点からスポーツ学の全体像を俯瞰するとともに、バイオメカニクスおよび生理学を通してスポーツパフォーマンスの向上に関する最新の科学を学修し、発育発達学、スポーツ栄養学およびスポーツ医学の立場から科学的知見の指導現場への導入と問題点について考えていく。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	スポーツ科学について多面的にアプローチし学修を進めることを目標とする。			○	◎									○	○	
19MHSC1242	スポーツ・リハビリテーション科学研究法	1	本授業では、「研究のプロセス」、「統計手法」および「研究スタイル」について解説し、修士論文を作成するための基礎的知識を学ぶことを目的とする。	健康・体力科学、スポーツトレーニング科学およびリハビリテーション科学に関係する研究法についての理解を深める。		◎									◎	◎	○	◎	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1．知識・理解						2．技能・表現				3．思考・判断			4. 態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2
19MHSC1252	身体運動評価学実習	1	スポーツ健康科学と理学療法学の現場で必要な身体運動の見方・考え方を学ばせ、種々の実習を通して身体運動の質的評価ができるようになることを目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	スポーツ医科学に関連する測定方法および解析方法について正しく理解できると同時に測定および解析に使用する機器を正しく操作することができる。また、測定および解析を実施する際の注意点について説明でき、なおかつ測定および解析の妥当性、信頼性について検討することができ、身体運動の質的評価ができるようになる。			○	○			○	◎	◎					○	
19MHSC1262	機能解剖学特論	1	生涯にわたる人間の健康の維持増進・競技スポーツの発展に寄与・貢献していくために基盤となる人体の正常な構造・機能について学ぶ。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	人体の正常な構造と機能について、解剖学的、組織学的、機能学的に、講義に合わせて実際の模型や標本も観察することによって、健康維持並びに競技スポーツにおける特異性に応用できる能力を習得することを目標にする。			○	○					○				○	◎	
19MHSC1271	スポーツ生理学特論	1	生理学的な原理をスポーツや身体運動へ応用することは、保健体育教師、コーチ、健康運動指導士、スポーツ競技者や学校における教育などにとって必要な取り組みになってきている。本特論を通じてさまざまな身体運動における生理的メカニズムを理解し、トレーニングプログラムの立案能力やリハビリテーションへの応用力を養う。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	運動・スポーツの際の生理的反応を理解し、健康増進やスポーツトレーニングについての課題に対して生理学的根拠に基づいて議論できる能力を身につける。			◎	○			◎						○		
19MHSP1211	保健体育科教育学特論	1	保健体育科の教育目標、教育内容、指導方法、学習のあり方についての基礎的な知識・概念の理解を深めていく。それをもとに、保健体育科の課題の解明に迫る。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	・保健体育科の意義を理解できる。 ・保健体育科の課題にむけて解決方法（研究の視点）を身につける。				◎				◎					○	◎	
19MHSP1312	保健体育科教育学演習	1	保健体育科に関して問題を措定し、理論的ないしは実践的に解明していくための研究計画を作成する。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	①解明しようとする問題を演習のテーマとし、先行研究の動向を知る。 ②テーマに迫るための研究方法を定める。 ③データを集め論理的に組み立てて一定の知見を得る。	◎	○						◎				◎	○	◎	
19MHSP1221	スポーツ教育学特論	1	スポーツ（体育授業以外のスポーツ実践を主な対象とする）を教育という観点からとらえ、スポーツの教育力・実態（問題点）・実践課題などを総合的に明らかにする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	受講生がそれぞれのスポーツ観・教育観を再吟味し、視野を広げたうえで再構築することを目標とする。				◎				◎				◎	○	◎	
19MHSP1322	スポーツ教育学演習	1	スポーツの教育価値について、当事者の見解を題材に考察する。受講生が、取材や文献精読、プレゼンテーションを通じてそれぞれのスポーツ観・教育観を再吟味する。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	受講者自身の調査・演習を通じて、各自のスポーツ観・教育観をより実践的な形で深める。		○		◎				◎				◎	○	◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1．知識・理解						2．技能・表現				3．思考・判断			4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2
19MHSP1231	教育経営特論	1	学校教育活動を経営するという観点から捉え、個々の学校の現状認識を踏まえてどのような経営が生徒の成長に寄与することができるのかについて、教育現場での実践を踏まえて総合的に明らかにする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	学校経営に関するあらゆる視点の中からいずれかの視点に絞り、その全体像を俯瞰するとともに、いかに経営していくべきかについて学校現場の実践に学ぶとともに、その経営方策について総括することを目標とする。		○						◎			○	◎	◎	○	
19MHSP1332	教育経営演習	1	学校現場をフィールドとして学校経営実践に学ぶとともに、その学校の掲げる教育目標実現等のための方策について模索することを目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	各学校が掲げる教育目標や実践課題を踏まえ、その目標実現や課題解決のための方策を構築する中で、学校現場での実践に役立つ学びを深める。		○						◎			○	◎	◎	○	
19MHSH1211	健康体力学特論	1	生理学的な原理をスポーツや身体運動へ応用することは、保健体育教師、コーチ、健康運動指導士、スポーツ競技者や学校における教育などにとって必要な取り組みになってきている。本特論を通じてさまざまな身体運動における生理的メカニズムを理解し、トレーニングプログラムの立案能力やリハビリテーションへの応用力を養う。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	運動・スポーツの際の生理的反応を理解し、健康増進やスポーツトレーニングについての課題に対して生理学的根拠に基づいて議論できる能力を身につける。			◎	○			◎						○		
19MHSH1312	健康体力学演習	1	課題に対して文献を検索し、内外の情報収集ができること、情報をまとめて説得力のあるプレゼンテーションができること、さらに科学的な根拠に基づき独創的な発想で身体運動のあり方を考えることができる能力を養う。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	健康・体力に関連する情報収集に基づいてこれからの課題を発見し、その解決に向けての具体的対策を科学的な根拠に基づいて説明することができる。	◎	○	◎				◎					◎	○	◎	
19MHSH1221	健康行動学特論	1	体育・スポーツおよび健康づくり運動の指導および実践に関する心理学の専門知識を理解し、習得することを目標とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	近年の健康行動科学に関する研究の動向を深く理解できる。			◎				◎					○	○	◎	
19MHSH1322	健康行動学演習	1	本科目では、健康を行動（主に身体活動）の側面から理解し、人の健康に関する行動の変容と維持について、先行研究の精読および調査演習から筋道を通して考える知識を身につけることを目標とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	健康行動科学に関する調査手法を習得する過程を通じて、実践的な課題を解決する能力を身につける。	◎	○	◎				◎					◎	○	◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1．知識・理解						2．技能・表現				3．思考・判断			4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2
19MHSH1231	ﾚｼﾞｬｰ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ学特論	1	レジャー・レクリエーションに関連する原理、心理、運動論、指導論、組織論、企画論、グループワーク論等の基礎理論を学習するとともにレジャー・レクリエーション研究者として必要な基礎を養うことを目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	近年のレジャー・レクリエーションに関する研究の動向・方法を深く理解する。			◎				◎					○		◎	
19MHSH1332	ﾚｼﾞｬｰ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ学演習	1	レジャー・レクリエーションの研究で多く用いられる調査・分析（統計、多変量解析）方法を充分に理解するとともに高い実践能力を養う。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	研究者として必要な調査・分析の基本から応用までを学ぶ。	◎	○	◎				◎					◎	○	◎	
19MHST1211	運動制御学特論	1	本特論では、ヒトの神経系・運動器・感覚器のそれぞれの構造と機能、およびそれらの相互関係に立脚し、随意運動の制御機構について理解を深める。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	随意運動の制御機構について理解を深めることを目標とする。運動制御学の学修には、生体電気現象の記録・解析などへの理解を欠くことができず、運動生理学や運動学手法を用いた実験・実習も織り交ぜながら演習を進めていく。				◎				◎				○	○	◎	
19MHST1312	運動制御学演習	1	スポーツ科学あるいは理学療法に関する運動制御学関連の論文（主としてInternational Journal）を精読し、これらの精査がスポーツパフォーマンスの向上あるいは安全な生活遂行能力の確保に大きく寄与できることを理解する。同時に、国際的な視野から運動制御にかかわる最新の問題点を把握し考察できる能力の育成をはかる。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	修士論文に関わる英語科学論文の内容を正確に把握でき、それらを精査し自身の修士論文に独創性を持たせるよう活かしていくことを目標とする。	◎	○		◎				◎				◎	○	◎	
19MHST1221	スポーツ心理学特論	1	本講義ではスポーツ活動における個人の心理特性（人間行動や精神行動）を理解し、スポーツ場面において表出される臨床的問題について考究する。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	スポーツ選手のメンタルに関する研究の動向を深く理解できる。				◎			○	◎					○	○	
19MHST1322	スポーツ心理学演習	1	本科目では、スポーツ活動の心理的側面を理解し、人の行動の生理・心理的変容について、心理指標や実験を通して考究することを目標とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	スポーツ心理学に関する実験手法を習得する過程を通じて、実践的な課題を解決する能力を身につける。	◎	○		○			○	○			○	○	○	○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1．知識・理解						2．技能・表現				3．思考・判断			4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2
19MHST1231	スポーツコーチング特論	1	この科目は効果的なスポーツコーチングの実践法に関する専門的知識をおよび理論の理解を深めることを主な目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	効果的にスポーツコーチングを実践するために必要な専門的知識および基礎理論を習得する。 ＜知識・理解＞ ●スポーツコーチング ●リーダーシップ ●研究方法 ＜技能＞ ●問題解決型思考スキル ●コミュニケーションスキル ●モチベーションコントロールスキル ●テクスト分析 ＜態度・志向性＞ ●臨床的研究態度 ●研究倫理 ＜総合的な学習経験と創造的思考力＞ ●学習した内容を、自分の研究領域およびスポーツコーチング実践に応用する能力				◎				◎					○	◎	
19MHST1332	スポーツコーチング演習	1	この科目は効果的なスポーツコーチング法に関する専門的知識をおよび理論を実践に適用することを主な目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	コーチングサイクルに沿ったコーチングスキルを実践できる能力を習得する。 ＜知識・理解＞ ●スポーツコーチング ●パフォーマンス構造 ●トレーニング計画 ＜技能＞ ●問題解決型思考スキル ●コミュニケーションスキル ●マインドマップ作成スキル ＜態度・志向性＞ ●現象学的態度 ●分析的思考と統合的思考の両立 ＜総合的な学習経験と創造的思考力＞ ●学習した内容を、自分の研究領域およびスポーツコーチング実践に応用する能力	◎	○		◎				◎				◎	○	◎	
19MHST1241	スポーツバイオメカニクス特論	1	本特論では、人間の身体運動に関して、力学・生理学・解剖学などの基礎知識を活用し運動と身体の関わり合いや動きの仕組みを理解するためのスポーツバイオメカニクスのアプローチに対する基本的理解を得る。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	高度なスポーツ動作から日常生活における立ち居振る舞いに至るまでの身体運動を分析的に視る力を養い、学問的視点とスポーツ現場での視点とにつながりを持てるようになるまでの理解を図る。バイオメカニクス領域の研究の動向を知り議論する力をつけることを通して、スポーツ技術をバイオメカニクス的に観察する力と現場における指導能力を開発することを目指す。				◎				◎						○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1．知識・理解						2．技能・表現				3．思考・判断			4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2
19MHST1342	スポーツバイオメカニクス演習	1	スポーツにおける動きの巧みさを科学的にとらえ、運動の仕組みを理解する方法を学修していく。各種スポーツ動作について、バイオメカニクス手法を用いた実験方法、データ解析方法について理解し、スポーツ技術をバイオメカニクス的に観察する力を養う。それぞれのスポーツ技術の構造を捉え、パフォーマンスを向上させるための要因を理解することを目指す。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	バイオメカニクス系の実験で使用する各種機器操作や分析方法を習得する過程を通じ、データの取り扱いやその理解を実践的論議を通して深め、課題解決能力を身につけることを目標とする。				◎				◎						○	
19MHSB1211	スポーツビジネス特論	1	本特論は、「身体」をめぐる文化活動としてのスポーツが有する多面性を理解した上で、スポーツがどのような形でビジネスと結びつき、社会的・経済的価値を生み出しているか、または生み出す可能性があるのか理解する。	スポーツとビジネスの結びつきについて、経営史および経営学の視点から理解できる能力を身につける。また、スポーツビジネスを展開する企業や団体のガバナンス問題についても理解を深める。	◎	○				◎					○	○	○	○	
19MHSB1312	スポーツビジネス演習	1	本演習は、多様な企業や団体が展開しているスポーツビジネスにおけるビジネスモデルの構造や、スポーツビジネスが生み出す社会的・経済的価値について、内外のケーススタディを通して考究し、ディスカッションする。	ディスカッションを主体としたスポーツビジネスに関わるケーススタディを通して、スポーツビジネスにおけるビジネスモデルの構造について考究し、スポーツが生み出す社会的・経済的価値について「持続可能性」の観点から論評できる能力を身につける。	◎	◎				○				○	○	○	◎	◎	
19MHSB1221	スポーツマーケティング特論	1	マーケティング論は、個人と組織の目的を満たすような交換を生み出すために、アイデアや財やサービスの考案から、価格設定、プロモーション、そして流通に至るまでを計画し、実行するプロセスである。現代におけるスポーツ産業の様々な成功事例からその裏側にあるマーケティング戦略を考察する。	マーケティングの基本用語や戦略法を理解し、自身の問題意識を交えて、商品、サービスを企画開発や宣伝、流通、そして価格など全て、顧客の立場で商品、サービスを評価できる人材の育成を目指す。		◎				○				◎	○	○	○	○	
19MHSB1322	スポーツマーケティング演習	1	この科目では、より深いマーケティング、また商学の実践的な戦略アプローチに関する専門的な知識および理論を学び、自ら論理的に戦略を考察し、分析できることを目的とする。	マーケティング関係、またスポーツビジネスにおける戦略論に関する論文購読を通じて、スポーツマーケティング分野の研究を理解する。		○				◎				○	○	○	○	○	
19MHSR1211	運動機能障害学特論	1	中枢神経障害および内部障害による運動機能の喪失について、その特徴および運動機能解析について基本的理解を得る。さらに、理学療法の評価と介入についても理解する。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	修士課程大学院生が運動機能障害学に関する基本的理解を深め、理学療法の評価と介入について論理的に説明することができる。					◎				◎			◎	○	◎	
19MHSR1312	運動機能障害学演習	1	中枢神経障害および内部障害による運動機能の喪失について、国内外の文献講読を通じて、理学療法の評価と介入における最新の現状について理解する。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	修士課程大学院生が自らの研究に関係する英語論文購読を通じて、運動機能障害学分野の研究を理解する。	◎				◎				◎			◎	○	◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1．知識・理解						2．技能・表現				3．思考・判断			4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2
19MHSR1221	分子機能回復学特論	1	人体の運動機能またそれを制御している神経機能を分子レベルから理解するための、基礎知識を学習する。	我々の体を構成している細胞にある様々な分子の働きについて、理解する。					◎				◎				○	◎	
19MHSR1322	分子機能回復学演習	1	本演習では運動機能障害や運動失調症が細胞生物学・分子生物学の手法を用いてどのような解析ができるのかを、実際の論文を解読することによって学習する。また特論で学んだ解剖生理学的な知識と細胞・分子生物学的な知見がどこまで統合可能になってきているのかを考察させる。	英語の論文を読んで理解することができる。論文の内容を要約し、発表することができる。	◎				◎				◎			◎	○	◎	
19MHSR1231	リハビリテーション医学特論	1	本特論では、まず解剖・生理学を概説し、次に脳や脊髄の損傷、神経・筋疾患、運動器（骨関節筋）の疾患、成長・切断などの障害、内部障害などの診断と治療法を説明する。さらにICIDH、ICFに示される障害の評価やゴール設定を理解する。リハビリテーションを通して過去から現在に至る障害治療福祉（介護）・医療との位置づけを解説し社会に貢献するための基礎知識を学習する。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	リハビリテーションを通して障害、福祉（介護）、医療との位置づけを理解し、受講者が新しい生活環境や職場において自立して社会に貢献できるよう基礎知識を修得する。					◎				◎				○	◎	
19MHSR1242	スポーツリハビリテーション学特論	1	スポーツ傷害に対するリハビリテーションを理解し、傷害別にスポーツ復帰に向けたリハビリテーションについての知識、技術を身につける。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	傷害における評価、治療の過程を理解し、リハビリテーションの全体像を把握することを目標とする。			○	○	◎			◎	◎				○	○	